

令和3年9月定例記者会見

【説明】

〔令和2年度の決算の概要〕

市長説明 令和2年度の決算の概要について説明します。一般会計は、特別定額給付金を始めとする新型コロナウイルス対策等に係る事業が要因となって、歳入、歳出とも昨年度に比べ非常に大きくなっています。歳入につきましては、国庫支出金が、特別定額給付金の給付事業を始めとする新型コロナウイルス感染対策に係る事業の補助金の大幅な増加により約131億円、また、消費税率引き上げに伴い地方消費税交付金が約4億円、それぞれ増収となり、昨年度に比べ全体で25.8%の増額となりました。歳出では、昨年度のアコン整備事業などがなくなりましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、特別定額給付金等の給付や、市独自の「さきめしいこま」の事業者支援の取組等により、全体で約105億円の増加となっております。実質収支では、約18億円の黒字となりました。その要因としては、まず、国から多額の補助金を頂いて歳入が大きくなったこと、2つ目は、コロナの影響で市税が減収となると予測しておりましたが、特別定額給付金を始め事業者等に対する様々な支援を実施した中で、大きな減収とはならなかったこと、最後にコロナウイルス感染の影響で予定していた事業の中で執行できなかった部分があったこと等によると考えております。この黒字部分については、基金に積み立てるほか、更なる市民や事業者に対する支援を行っていきたいと考えています。

その他、全ての特別会計については、黒字あるいは収支均衡となりました。

財政関係の指標ですが、経常収支比率は、4.6ポイント改善しています。財政力指数も0.01ポイント下がったものの、ほぼ前年並みとなっています。全体としては、ほぼ健全な財政状況であると言えます。今後もコロナウイルスの影響は継続すると思われませんが、国からの支援も不透明なところもありますし、財政状況を勘案しながらも、必要なコロナ対策事業には積極的に取り組みたいと考えています。

〔いこま市民パワー(株)が卒FIT電気購入サービスを開始します〕

市長 再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)は、自宅の太陽光パネルなどで発電した電力の余剰電力を買い取るというものですが、この買取期間の10年が終了した方に対して、いこま市民パワーが余剰電力の買取を始めます。市民の方は引き続き電力を売却できますし、エネルギーの地産地消にもつながります。開始時期は9月1日からで、対象は、FITにおける買取期間(10年間)が終了しているか、今後終了する予定の方です。基本的な買取単価は10円で、関西電力の買取価格8円より上回っています。この買取価格に生駒市内の発電設備には1円、いこま市民パワー電気契約者にはさらに1円を加算します。また、市民エネルギー生駒が出資を募っている、市民共同太陽光発電所の出資者については、市民エネルギー生駒の負担でさらに2円加算します。なお、来年の1月31日までに申し込まれた方には、さらに1円のプレミアムを上乗せして買い取ります。いこま市民パワーとして、再生可能エネルギーを調達することができるとともに、市民の皆さんにエネルギーの地域循環を考えて頂くため、今回の取組を実施いたしました。

〔花火打ち上げガバメントクラウドファンディング〕

市長 11月に迎える市制50周年を記念した花火を打ち上げるため、その費用の一部をガバメントクラウドファンディングで調達します。打ち上げ場所は、どんどこまつりでは市内1か所でしたが、市内のどこからでも見やすいように3か所を予定しております。日程は、10月末から11月上旬のいずれか1日です。経費は、総額575万円で、内訳として花火代が300万円、警備や清掃等に係る経費が275万円です。この花火代に対して、賛同者からの寄附を広く募集できないかということで、今回クラウドファンディングを行います。募集期間は、9月1日からです。募集額は100万円で、残りの200万円は事業者や団体からの寄附を想定しています。

【 質疑応答 】

記者 いこま市民パワーの卒FIT電機買取によって、再生エネルギー比率をどれくらい上昇させたかというような目標値はありますか。

市長 ご家庭の余剰電力の買取ということで、1件ごとが小規模ということもあり、現時点では数値目標はありません。市民の皆さんには、いこま市民パワーの取組やエネルギーの循環に関心を持って頂ければと思っています。

(その他の質問)

なし。

(了)